

豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例を制定しました 「いのちへの共感に満ちた まちづくり」に向けて

いのちを大切にする 支え合う 未来へつなぐ



今年6月議会で、豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例が、一部修正の上、可決されました。

この条例は、市民を中心とした条例案検討委員会によって約1年半をかけてさまざまな議論を重ね、検討されてきました。その報告を受け、市では昨年の9月議会で条例案として提案していました。

一方、議会においては「情緒的な表現や固有名詞の削除」、「戦争の記述が不可欠である」などが議論され、このたびの可決となりました。併せて市では、補正予算でいのちへの共感スタート事業として、本年度に三つの事業を計画しています。詳しい内容は、次回以降の市広報紙でお知らせします。

《問合せ》 政策調整課政策調整係 ☎21-9022

■ 制定の目的

これまで豊岡が進めてきたさまざまな政策やまちづくりの根底には「いのちへの共感」の考え方が流れています。

このことを私たちが再確認し、「いのちへの共感」を豊岡のまちづくりの基礎に置いて、広げていくための具体的戦略を条例に定め、まちづくりを進めようとするものです。

■ いのちへの共感のための三つの視点

- ・ いのちを大切にすること
- ・ 支え合うこと
- ・ 未来へつなぐこと

● いのちを大切にすること

私たちの命はたった一つ、1回限りで、いつかなくなる運命にあります。だからこそ私にとって私の命は大切でかけがえのないものであり、他者にとっても同様です。このことを理解できれば、他の命への尊重が生まれてくるはず

● 支え合うこと

同時に、かけがえない命だからこそ健やかに、そして悔いのないように生きたいという気持ちが生まれてくるはず

きていくことはできません。人と人・人と生きものが関わり合い、さまざまな生きものが食物連鎖を繰り返して、この自然界が成り立っています。不必要といえるものは何もありません。

● 未来へつなぐこと

私の命は、父母がいないと存在しません。その先には祖母の命、先祖の命があり、さらにさかのぼると、大昔アフリカで誕生した最初の人類にたどり着き、さらにさかのぼると地球上で発生した最初の生命にまでつながっています。

その途中のどれか一つが欠けていても、今の私や生きものは存在しませんでした。

私たちには、自然界の一員として、この豊かな自然を、また命の尊重とそのつながりを未来へ引き継いでいく責任があります。

■ いのちへの共感に満ちたまちづくり

市では、後期基本計画で「いのちへの共感」をまちづくりの根底に定めています。次ページの五つの取組みを進め、さまざまなまちづくりに広げていくこととしています。

基本的な考え方

- いのちを大切にすること
- 支え合うこと
- 未来へつなぐこと

「いのちへの共感」の取組み

※平成24年度に新規拡充した事業の一部を紹介します

1つ1つの事業に盛り込む

①いのちを守るまちづくり

●スマートウェルネス豊岡構想の推進 (健康づくり推進モデル事業)

概要 健康づくり推進モデル地区を4区指定し、運動指導員等の派遣、歩数計等の必要資材の提供など、健康につながる活動を支援します。



●福祉医療費助成に係る中学3年生までの入院一部負担金の無料化

概要 重度障害者、乳幼児等、母子家庭等、こどもの各医療の受給対象者のうち、中学生以下の入院医療費の自己負担を無料化します。



②一人一人を尊重するまちづくり

●身体障害者および知的障害者相談員の配置

概要 身体障害者・知的障害者本人またはその保護者等からの相談に応じ、必要な指導・助言を行う身体障害者相談員、知的障害者相談員を設置します。

●人権教育推進委員の配置

概要 市人権教育推進協議会と連携し、各地域の事情に詳しい方に人権教育推進員を委嘱し、地域の人権学習の要請に応えられるような体制を整備します。



③ふるさとを愛するまちづくり

●小・中学生、高校生コラボ音楽体験

概要 小学生から高校生までの合同音楽発表会や、地域の人々と合同演奏体験を実施し、一人の地域住民としての意識を高めます。



●子ども夏期大学

概要 世界ジオパークネットワークへ加盟認定された豊岡の自然環境を学ぶため、小・中学生、高校生を対象に、ジオパーク巡りや歴史体験を実施します。

④挑戦する心を育むまちづくり

●植村直己冒険館の自主事業

概要 南極授業、講演会、昭和基地ライブ映像放映の実施、冒険賞受賞者による出前講座を実施します。



●高校生チャレンジ支援事業

概要 市内高校生(個人・団体)の夢への挑戦(文化芸術、生物科学、スポーツ等)に対し、上限20万円を補助します。

⑤人と生きものが共生するまちづくり

●ラムサール条約関連事業

概要 ラムサール条約湿地として登録された、特徴的な湿地環境を有する円山川下流域で、自然再生活動をさらに推進します。



●生物多様性地域戦略の策定

概要 生きもの目線のまちづくりの方向性について、戦略を策定します。